

薬系技官の Life Style

薬系技官は普段どのように過ごしているのか、日常のとある1日を追ってみました



医薬局
医療機器審査管理課 係員
甲斐 晴稀
KAI Haruki

令和5年 入省
令和5年 医薬局医療機器審査管理課

医療機器・体外診断用医薬品・再生医療等製品の審査に関わる業務を担当しています。コロナ渦を経て注目が高まった検査キットをはじめ、最先端の再生医療等製品や近年増えているプログラム医療機器など、多岐にわたる業務で刺激的な毎日を送っています。



医薬局
医薬品審査管理課化学物質安全対策室
微量化学物質専門官
江田 美沙子
EDA Misako

平成23年 入省
平成23年 医薬食品局総務課
平成25年 医薬食品局監視指導・麻薬対策課薬事監視第二係長
平成27年 環境省水・大気環境局大気環境課未規制物質係長
平成29年 医薬・生活衛生局医療機器審査管理課課長補佐
令和3年 医薬・生活衛生局食品監視安全課健康影響対策専門官
令和4年 現職

家庭用品(洗浄剤、繊維製品等)の化学的安全性確保を担当しています。多種多様な家庭用品に様々な化学物質が使用されていますが、その利便性を生かしつつ、いかにリスクを小さくするか、多くの関係者と日々一緒に考えています。家庭用品の幅が非常に広いので、局や省をまたぐ案件も多いです。

この日の午前は、企業とWebで面談を行いました。企業の担当者様から聞き取った内容は、分かりやすく整理し、課内でじっくり検討するための材料とします。そのため、わからない点は積極的に質問し、その場で疑問を解決するよう頑張ります。



この日の午後は、次の部会で審議する予定の品目について課内で会議を行いました。新人でありながら、資料を準備し、審議内容について課室長に説明します。新人であっても、業務に責任と使命感を持って従事しなければなりません。説明能力はまだ発展途上ですが、少しずつ向上している気がします。

3人の子どもの保育園に送り出してから、大急ぎで朝食の後片付けをして出勤します。登庁したら、前日退庁後に届いたメールをまず確認し、その日の業務の優先順位をつけます。

朝夕は子どもたちのお世話で落ち着いて食べられないので、平日の昼食だけがゆっくり食べられます。地下の職員食堂で食べる人が多いです。

これまでの打合せを踏まえて検討会資料を作成し、専門家にメールで確認依頼します。公表資料になるので、誤りがないか慎重に確認します。資料作成中に、化学物質管理に関する国際的枠組みについて、明日締切の照会がありました。国際案件は特に締切の短い案件が多いです。また、局や省をまたぐ案件も多く、関係課と電話で対応方針を急ぎ相談します。

出勤
9:00
12:00
13:00
15:00
17:45

自宅から1時間程度かけて通勤しており、出勤後はまず前日のメール・Teamsチェックとその日の予定を確認します。「要対応」のチェックを付けていたメールを1つずつ処理していくのが、ちょっと楽しくて好きです。

午前中の業務が一段落したら、気分転換のお昼休みです。他部署の同期に連絡して一緒にランチに行ったり、職場が近い大学の同期と予定を合わせてランチに行ったりすることもあります。実は弁当男子なのでデスクでそのまま食べることも多いです。

部会直前は遅くなることもありますが、早めに帰って家でのおんびりテレビゲームしている時間が好きです。研修で同じ班になった他省庁の同期と飲みに行くこともあります。ここで得た繋がりは将来もずっと続きます。

出勤
9:30
12:00
13:00
15:00
17:00

毒性の専門家とオンラインで打合せです。オンラインが普及して、移動時間を気にせず打合せを設定できますし、遠方の大学の先生にもご意見が伺いやすくなりました。

週に1回の室内打合せです。先週末までの進捗状況と来週以降の予定を、部下から室長に報告するのに、適宜フォローを入れます。午前中の打合せ内容も報告し、検討会資料へ反映方針を相談しました。

17時までの時短勤務です。この後、保育園に子どもたちを迎えに行き、夕食、お風呂、寝かしつけと、もう一仕事あります。通勤電車では、簡単な仕事のメールの返信をしたり、ネットショッピングしたりしています。



医薬局
血液対策課 血液安全係長
田村 文弥
TAMURA Fumiya

令和3年 入省
令和3年 医政局研究開発振興課
令和5年 現職

医薬品の中でも、献血により人体から集められた血液を原料として製造される「血液製剤」を安全かつ安定的に供給するため、法令や事業を通じた血液行政を担当しています。献血時の制限基準にも関わることがあり、血液ならではの課題も多く、医科学と薬事規制の視点が必要不可欠です。

省内勤務の日

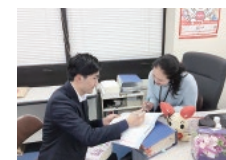
登庁したらメールでの業務確認と併せて、最新の感染症動向や医薬品開発の前線から血液製剤に関する情報を収集します。ルーティンワーク上、PMDAや関係企業からも情報は随時寄せられますが、他課の動向も捉え視点を広げてみると、思わぬ収穫があったりします。

来年度に向け研究課題を進めていくため、関係者と打ち合わせをしました。直接お訪ねすることもあります。現在はWeb会議で気軽に相談することがほとんどです。新たな検討事項や予算・スケジュールをお伝えし、今後の見通しについて議論しました。

お昼休憩の過ごし方は人それぞれです。日中は席に座っている時間が長いので、天気良ければ散歩がてら足を伸ばして買い出しに行くことも。息抜きに甘いものが欲しかったので歩いて和菓子を買に行ってみました。

午後からは資料作成のデスクワークに集中します。調べても分からないことがあれば、省内の関係課やPMDAに問い合わせるなど確認が必要です。集めた材料をもとに必要な事項とロジックを整理し、分かりやすい文章・図表に組み立てます。

ひと通り作業が終わった段階で、資料のチェックをしました。課内のコメント内容をまとめて、課長に説明し了解を取ります。作成時に気付かなかったポイントや指摘を踏まえ、要点がつかみやすくなるようブラッシュアップできました。



今日の目標はここまででした。業務内容によっては、テレワークに切り替えて調べ物に時間をかけるなど、臨機応変に取り組んでいます。

現場視察の日

出勤
9:00
12:00
13:00
15:00
17:45

行政立案には現場の視点も必要です。研究や医療の課題を知りアウトプットに役立てるため、生の声を聞きに行くことがあります。庁舎にいるだけでは感じ取ることができない貴重な機会なので、新しい発想のきっかけになります。

国立感染症研究所をお訪ねし、研究者と事業の打ち合わせを行いました。血液を媒介する感染症について知見を深めるため、施設見学とレクチャーを行っていただき、事業の重要性を実感しました。次年度で達成すべき目標を議論し、必要な体制を確認しました。



午前中の外勤から庁舎に向かいます。電車移動が基本ですが、途中歩く場合もあります。時間に余裕があればランチも済ませて戻ります。

今日は夕刻から、年に4回開催している審議会がある日でした。開催場所は霞が関近くにある省外の会議スペースですが、資料や機材の搬入が必要です。会議が滞りなく開始できるよう、準備作業が整い次第セッティングに向かいます。

審議会は定例の報告を中心に、血液製剤に関連する感染症情報や、安全性・供給状況に影響するトピックが扱われます。会議中は発言や質問にも対応しますが、製造業者や研究所の委員が議論を重ね、血液事業の方向性などを決めていきます。



細かな部分まで資料を調整し説明対応もしっかり用意していたおかげか、そつなく議事が進み予定より早く終了しました。撤収してすぐ退庁できたので、庁舎近くの映画館で観たかった作品に間に合いました。忙しく過ごした日は、楽しさも格別です！